

平成28年度 環境創造センター年次計画(案)の概要



平成28年3月14日
環境創造センター

1. モニタリング

- ・県内各地において、学校・公園等の定点測定、バス等を利用した走行サーベイ、モニタリングポスト等を用いた常時監視の実施など、きめ細やかなモニタリングを実施します。
- ・「総合モニタリング計画」に基づき国、県、市町村等で実施されている環境放射能モニタリングの測定結果の集約、情報共有を行い、効率的に活用していきます。
- ・環境放射能の他、大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、廃棄物、化学物質に関する調査分析の実施を行い、データの管理及び情報発信を行います。
- ・原子力災害対策指針、福島県地域防災計画(原子力災害対策編)等に基づき、緊急時モニタリングにおける県内の測定担当機関の中核として、緊急時における、環境資料中の放射能測定が実施可能な体制について検討します。

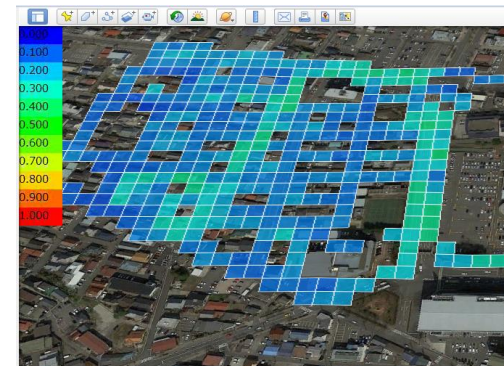


環境放射能等モニタリングの実施

2. 調査研究

・放射線計測

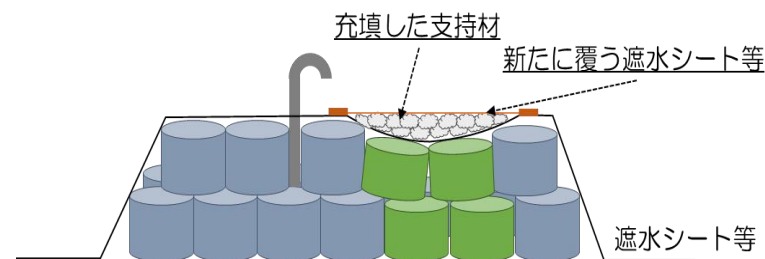
放射性物質の分析手法を簡易・迅速化する技術や、広範囲にわたる詳細な線量率分布等の短時間での測定技術、現場での高精度な連続測定などに向けた技術開発を行うと共に、モニタリングデータの分かりやすい提示方法や、被曝線量の評価手法の開発について検討を実施します。



GPS歩行サーベイによる測定結果表示例

・除染・廃棄物

効果的・効率的な除染技術や、森林等からの放射性物質の流出抑制技術の開発・研究に取り組むと共に、除去土壌や汚染廃棄物の減容化技術や廃棄物処理における安全で適正な技術や管理手法について検討します。



廃棄物保管のイメージ

2. 調査研究

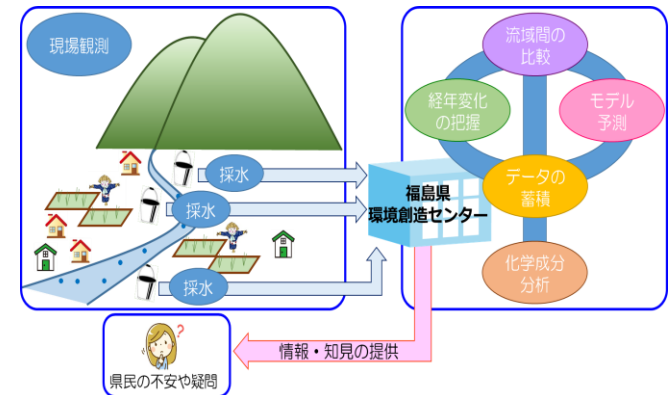
・環境動態

森林、河川、ダム、溜め池、河口域等の放射性物質の移行挙動調査を実施し、特に放射性セシウムの動態の把握を行います。

また、野生生物の食性を含む行動予測や放射性物質の生体内濃縮について調査し、被爆による野生生物への影響等について調査研究を行います。

・環境創造

生活・環境・産業が調和する将来復興ビジョンや、復興グランドデザインと整合したまちづくり事業の計画支援に関する研究を行うと共に、猪苗代湖の水環境や森林の復興に向けた広域モデルによる資源利活用評価に関する研究を行います。



放射性物質の移行挙動に関する研究の例

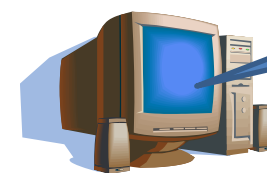


猪苗代湖の様子

3. 情報収集・発信

・モニタリングデータの収集・発信

国内各機関が所有するモニタリングデータについて情報の整理、収集方法の検討を行い、各種データを県民の皆さまのニーズに即して分かりやすく発信できるように情報発信体制の検討を進めていきます。



データ公開のイメージ

・調査研究成果の収集・発信

研究成果報告会の開催、国内学会への参加、シンポジウム等をとおした研究成果の共有、研究関連刊行物の発刊などを行い、研究成果を県外だけでなく国外へも広く発信して参ります。

また、県民の皆さまへ研究成果を分かりやすく親近感を持って発信するため、環境創造センターの施設見学や住民説明会、来館者と研究員が対話、交流する場の創出を行います。



成果発表会のイメージ

3. 情報収集・発信

・環境回復・地域再生・環境創造に関する情報の収集・発信

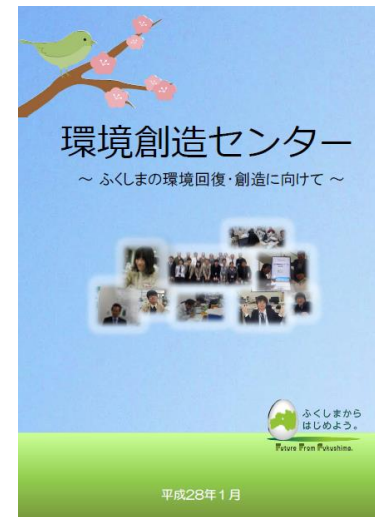
県内外において環境回復・創造に向けた取組を行っている団体等と協力して取組事例の収集・蓄積を実施し、収集した事例を広く周知して参ります。

また、放射線・除染等に関する環境回復に関する講習会を実施の環境創造研究の成果に関する刊行物の作成など、環境回復・創造に向けた情報発信を行います。

・交流棟における取組

ふくしまの環境の現状や放射線に関する情報を伝え、子どもたちがふくしまの未来を創造する力を育む必要があることから、夏期及び冬期の長期休暇を含む期間の企画展の開催や、国立科学博物館の協力のもと実施する環境創造シアターの運営、交流棟における体験学習機会の創出を行います。

また、交流棟に整備されるホールにおいて、国内外の研究機関との連携促進を目的に国内外の学会の誘致を図ります



環境創造センター概要パンフレット



交流棟のイメージパース

4. 教育・研修・交流

・環境放射能等に関する教育・環境の回復・創造に関する研修

本県の未来を担う子どもたちが「放射線や本県の環境等について学び、自ら考え、主体的に判断し行動する力」や「本県の状況を適切に理解し、風評を払拭する力」を身につけるため、交流棟の展示室や研修室を利用した学習機会の創出や、せせらぎスクール、環境アドバイザー派遣などの環境教育に係る取組を積極的に実施していきます。

また、大学や高専等と連携し、学生を対象とした放射線や除染等に係る学習プログラムの作成支援及び交流棟を活用した体験型授業等を実施します。



猪苗代水環境センター(猪苗代町)

・県民・NPO・関係機関等との交流

県民の皆さまの不安や疑問に答え、放射線や環境問題を身近な視点から知り、環境回復・創造への意識を深めていただくことを目的に、環境創造センターの附属施設である猪苗代水環境センター(猪苗代町)、野生生物共生センター(大玉村)を、県民やNPO等との交流の場として利用し、環境学習や普及啓発等を実施します。

また、大学やボランティア等の地元の方々と連携したイベントを開催し、放射線や環境問題を身近に感じ、意識を深める機会を創出します。



野生生物共生センター(大玉村)